

高浜小学校・三村小学校・関川小学校・南小学校統合再編に係る説明会 要旨

日時 令和2年8月27日(木) 午後7時から午後8時

場所 東地区公民館 大会議室

執行部 児島教育長, 豊崎部長, 吉澤次長, 倉本参事, 小沼教育総務課長, 小河原副参事,
海東係長, 佐藤主事

出席者 5名

次第

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 職員紹介
4. 統合再編計画に係る説明

資料

- 「高浜小学校・三村小学校・関川小学校・
南小学校統合校基本計画(案)」
- 「高浜小学校・三村小学校・関川小学校・
南小学校統合検討委員会スケジュールの例」

5. 質疑応答
6. その他
7. 閉会

次第に沿って、4. 統合再編計画に係る説明まで行う

(参加者)

統合によって、地域との関係が希薄になるのではないかと。南小に子供たちが来た時の雰囲気や、それを融合するのに懸念される事はあるのか？

(事務局)

子供たちの事前交流をしっかりと行い、統合前には既にコミュニティがある程度出来上がっているくらいの交流を深めて行きたい。

検討部会の中で、地域行事等の調整も検討材料に入れ、地区の皆様にも一つの専門部会の中に入れていただきながら、きちんと議論を重ねて進めていければと思っている。

(参加者)

通学区域について。学区境の児童の通学先などはどう考えているのか？

(事務局)

区域外就学については、申請内容を精査し、一部学区の変更をしているご家庭もある。基本的には、今ある学区を基軸としての統合と考えております。今回の統合で、学区が複雑に入り組んでいるところが解消されると言った部分も出てきます。

(参加者)

通学路の整備等に関してはどの様に考えているのか？

(事務局)

通学路に関しては、統合するしないに関わらず、各学校での安全の確保がされる事が第一です。現在も安全確保に向けた審議会などがあり、関係各所とも協議し、道路整備以外にも、ソフトの部分で対応や、交通規制の要望なども含め、出来る事をやって行く。

統合によって、新しく出てくる通学路などについても、事前に検討委員会で審議をしてまいります。

(参加者)

南小の体育館は統合による改修で大きくなるのか？

(事務局)

現時点では、基本的な今の枠組みをそのまま残しながらの改修工事と言う形で考えております。面積を大きくする様な、建て替えの様な工事では無いと考えておりますので、今の規模そのままと言う形になってくるかと思えます。

(参加者)

石中の際は、会議がスタートしてから実際に統合までどれくらい掛かったのか？

(事務局)

第1回の統合検討委員会を、平成27年の12月に行い、平成30年4月の統合まで中2年です。今回の計画は4校と多い事、そして、地域性をきちんと図って行く事からも、もう1年掛けて、3年で考えております。

(参加者)

開校に合わせての整備を。開校した後、校内の道路を広げるとかではなくて、スタートの時点でやっていただければと。

(事務局)

開校にはきちんと整備が完了出来る事を目指し、進めてまいります。

(参加者)

この統合計画って言うのは、今回だと4校が合わさる。他の枠組みはあるのか。

(事務局)

平成30年。今回の計画を立てるにあたっての答申案をいただき、答申案での統合計画をお示しし、アンケート等を取りました。

他のエリアでは、府中小と北小の統合。八郷地区では瓦会小と恋瀬小の枠組み。それから、葦穂小と吉生小、柿岡小3校の統合の枠組み。それらを行ったとしても当面、単学級の学校がまだ出てきますので、最終的には、八郷中学校区で1校の枠組みとして考えての案を示させていただき、概ね理解出来る事のご回答いただいでる計画を作成し、今現在それを一つ一つエリアを分けながら進めていくところです。

(参加者)

統合の際、子供が環境に適応しやすい様なフォローを入れていただいで、一緒にやっていく様な明るい学校にさせていただければと思う。

(事務局)

検討委員会を立ち上げ、交流における専門部会の中で、事前の交流行事をしっかりと行っていきます。

多くの人数の中で、委縮してしまう児童がいると言ったケースも想定されます。クラス数に応じた先生の人数と言う事で、それだけ大人の数も増えてくると言う部分もあります。子供たちを見ていくうえでは、多くの目が大事になってこようかなと思っておりますので、そこにつきましても、しっかりとケアしていければと思っております。

(参事)

例えば、色んなパターンが考えられますが、小規模校であっても全員が伸び伸びかと言うと、逆にそうでもない。6年間、あるいは幼稚園保育園から10何年一緒に、固定化された人間関係で、序列がついてしまうなんて場合も無い訳では無い。大きい学校で、みんなが窮屈かと言うと、逆に上手に色んな人間関係の勉強をしている子もいます。色々な教育の意義と言うのがあると思います。そう言った事も含めて、事前交流の中で、一人一人をしっかりと見ていく。統合の前の年度と統合年度で、教員は1人多く配置出来ます。あるいは、外部のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を活用して、子供や保護者との面談等を行っていきながら、色んな声を聞いて、統合して終わりではなく、統合する前の交流活動と統合した後も、ずっと子供たちをしっかりと見ていくと言う姿勢で、新しい学校を作っていく方向でやっていければと考えています。

(参加者)

このスケジュール例では、令和5年に統合と言う事ですが、これが延びたり、早まったりと言う事はありますか？

(事務局)

現時点で、検討事項の他に校舎の改修も入れて行くと、5年より前に倒すと言うのは、難しい部分があると思っております。また、後ろに倒すか倒さないか。我々も令和6年度のこのスケジュールで行く事を目指しておりますが、統合検討委員会の中で、時期についても検討し合いながら、やっていくと言う事になっていきます。我々としては、このスケジュールを基に頑張っていきますと言う形の言い方になります。先日まで保護者様とお話させていただいた中では、頑張っていましようと言う様な流れも、大分出来てきている様に感じております。

(参加者)

スクールバスについて、停留所や時間の問題は色々あると思う。石中のコースを使うと言った事もあるのか？

(事務局)

ルートについて、同じ学区の中で南小の前を通る石岡中学校のバスがあるので、基軸はそこで考えていきます。中学生は3学年で4台のバスを利用していますが、小学生は、6学年。実際のルートなどによって違ってくるとは思いますが、単純計算では倍になります。

検討委員会の中ではルートやバス停の位置であったりとか、そういったものも検討の一つになってこよかなと思っております。

(参加者)

石中の統合の時もそうだが、照明、街路灯について。小学生だから、遅い時間と言う事はないかと思うが、冬の時間なども考慮して。前回の経験も踏まえ、安心安全な通学路整備をしていただきたいと思う。

(事務局)

石岡中学校と城南中学校の統合の時、防犯灯をコミュニティ推進課で38基設置しております。不足部分なども、今後の検討委員会の中で協議していく。これについても、地域の方に入ってきていただいて、通学路の部会と言う形になってこよかと思っておりますので、ご協力をお願い出来ればと思っております。